

2014年鳥取市議会2月定例会 議員提出議案第2号

「消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書」

反対討論 日本共産党 鳥取市議団 伊藤いく子

私は、日本共産党市議団を代表して、議員提出議案第2号 消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書について反対の討論をおこないます。

まず、軽減税率は、低所得者層を含む消費者全体へ持続的に恩恵が及ぶ制度だとありますが、消費者全体へ持続的な恩恵というのなら、軽減税率の導入ではなく、最悪の不公平税制である消費税増税を止めることです。

また、軽減税率の導入時期については消費税率10%への引き上げが前提となっており、到底認められるものではありません。

あたかも国民生活を守るかのような軽減税率は、小手先のごまかしにしかすぎません。

「消費税引き上げなくして、超高齢化社会を支えるのか」と言われますが、増税分は社会保障に回すと言いながら、増税でつくる財源を高速道路や巨大港湾など大型公共工事に回す条項を、わざわざ消費税増税法の附則に盛り込んでいます。そして、国民には社会保障の削減を押し付けています。消費税は打ち出の小槌ではありません。

消費税増税はきっぱり中止し、国民の所得を増やし経済を立て直す政策に、抜本転換することが国民の生活を守ることになります。

以上、議員提出議案第2号に対する反対の討論とします。